

堺区 区域まちづくり事業 効果検証シート

| 事業名称 | | 実施主体 | | | |
|--|---|--|---|---------------------------------|--------------------------------|
| 大道筋の賑わい創出事業 | | 堺区役所企画総務課 | | | |
| 事業目的 | 事業効果 | 活動指標 | H26 | H27 | H28 |
| 区役所がコーディネーターの役割を担い、総合的な大道筋の将来像を実現する仕組みを構築し、堺区の重要な資源の一つである「大道筋」をはじめとした地域の賑わい創出・活性化につなげることを目的とする。 | ○区・局間連携の促進 ○区民との協働で取り組むまちづくりの推進 ○大道筋の賑わい・活性化 | 庁内会議の開催回数および区域まちづくり事業(ハード事業)の執行数 | 庁内会議 1回 事業執行数 - | 庁内会議 2回 事業執行数 - | 庁内会議 3回 事業執行数 1件 |
| | | 区民協働による取組の参加(来場)者数 | (清掃)月平均15人 | (清掃)月平均20人 (マルシェ) 回平均850人 | (清掃)月平均6人 (マルシェ) 回平均700人 |
| | | 「場(プラットフォーム)」や会議等の実施回数 | 10回 | 11回 | 6回 |
| ①妥当性 | ②協働の視点 | ③インパクト | ④効率性 | | |
| ○ 堺区の重要な資源のひとつである「大道筋」をはじめとした地域の賑わい創出・活性化にむけて、区がコーディネーターの役割を担い、市の施策・取組等を整理し、関係部局と連携しながらまちづくりを進めていく必要がある。 | ○ 大道筋沿道の区民や企業等の知恵やアイデアをもとに、社会情勢などもふまえて役割分担しながら事業・取組等を実施していく必要がある。 | ○ 「大道筋をはじめとした地域」をキーワードに、まちづくりに関心を持つ住民、事業者、まちづくり活動団体などが気軽に集い交流し、学び、企業や商店街、教育機関、行政などと連携・協力できる「場・しくみ(プラットフォーム)」が立ち上がった。 | △ 「場・しくみ(プラットフォーム)」を通じて、区民や活動団体、行政などが各自の取り組みや活動などの情報を相互に共有することができるのと同時に、大道筋沿道の住民や事業者などがまちづくり実践家、市の若手職員などともつながりを持つことで、協力・連携して取り組むきっかけづくりになる。 | | |
| ⑤自立発展性 | 総合評価 | | | | |
| ○ まちづくりの主体となる住民や事業者、まちづくり活動団体等の自立としては一定見込めるが、現時点では行政の関与が必要である。 | ○ ○庁内会議で、関係各部局の大道筋周辺地域に関する事業推進における現状と課題を把握することで、区局連携しながら事業に取り組むことができた。 ○大道筋をはじめとした地域の賑わい創出・活性化にむけて、「場・しくみ(プラットフォーム)」を通じて、まちづくりに関心を持つ住民や事業者、まちづくり活動団体などがつながり、それぞれの取組や活動を情報共有し、区民が主体的にまちづくりを考えるきっかけとなった。 ○区民との協働による取組(清掃活動やマルシェ等)を実施することで、区民が主体的に活動に取り組む、まちづくりに対する機運醸成につながった。 | | | | |
| 今後の方向性(課題、改善提案等) | | | | | |
| 拡充 継続 見直し 廃止 | 大道筋をはじめとした地域の活性化につなげていくために、まちづくりに関心を持つさまざまな人が、気軽に 集い、話しあい、磨きあい交流しながら実践していく「場」を引き続き設けるとともに、人と人がつながるきっかけから区内の活動や取組が面となってつながるよう、関係部局と連携しながら区民協働による事業および取組を実施していく。 | | | | |